



ねむろ

平成29年11月1日発行 第96号

社協だより

街頭募金運動にご協力ありがとうございました！



10月1日(日)に市内7ヵ所において、赤い羽根街頭募金運動を実施し、多くの皆さまから心温まる善意の募金が寄せられました。募金をしていただいた皆さま、ご協力いただき誠にありがとうございました。

発 行 社会福祉法人 根室市社会福祉協議会

根室市有磯町2丁目6番地 TEL 24-0381

印刷所 根室印刷株式会社



この「社協だより」は共同募金の助成金及び
社協会費を発行費用に充てております。

共同募金運動が始まりました

～皆さまのあたたかい気持ちを共同募金運動にお寄せいただきますよう、ご協力ををお願いいたします～



赤い羽根共同募金運動

～実施期間：10月1日から12月31日～



【第33回根室産業フェスティバルの募金活動のひとこま】

10月1日(日)より全国一斉に赤い羽根共同募金運動が始まりました。

募金運動初日の10月1日は、多くのボランティアにご協力いただき、根室市内7ヵ所で街頭募金運動を実施しました。当日は、商店などで募金を呼びかけ、市民の皆さまから282,228円のあたたかい善意が寄せられました。

また、同日に開催された『第33回根室産業フェスティバル』の会場においては、将来の地域のリーダーを育てる“子ども会リーダー研修会”の活動の一環として募金活動を実施し、来場された多くの方々に募金を呼びかけ、25,265円のご協力をいただきました。

募金にご協力をいただきました皆さん、誠にありがとうございました。

皆さんから寄せられた募金は、根室市共同募金委員会を通じて北海道共同募金会に集約され、その後、募金額の約7割が市町村地域助成金として社会福祉事業を行っている根室市社協に助成されます。また、残りの約3割は北海道共同募金会が広域的な視野から、全道の各種福祉事業などへの助成をはじめ、災害支援にも役立てられています。

助成を受ける根室市社協では、皆さんから寄せられる赤い羽根共同募金を活用したさまざまな福祉事業を実施し、今後も地域福祉の向上を目指してまいりますので、引き続きあたたかいご支援とご協力をお願いいたします。

根室市社協では赤い羽根共同募金を活用して皆さまの暮らしに役立ついろいろな福祉事業を実施しております！



■小地域福祉活動推進助成事業

身近な地域で誰もが生きがいを持って安心して暮らすことができる地域づくりを目指して、「見守り活動」、「ふれあいサロン」、「災害時の体制づくり」などに取り組む町会に対して助成金を交付し、町会が実施する福祉活動を支援しています。

■ふれあい交流会事業

毎年“誰もがともに生きる福祉の社会づくり”を目指して「ふれあい交流会」を開催しています。

今年は9月3日(日)に開催し、市民の皆さんをはじめ、福祉団体、ボランティア団体など約1,800名が会場に集まりました。いろいろなイベントコーナーで交流を深め、みんなで楽しい時間を過ごしました。

■ボランティアセンター事業

ボランティアの育成や調整を実施し、市内でボランティアに取り組む方々を応援しています。ジュニアボランティア養成講座では、市内の学校を対象に「高齢者疑似体験」や「手話の学習」などの出前型体験講座を実施し、児童・生徒とともに助け合い生きることの大切さを学んでいただいております。

■広報発行事業

根室市社協で実施している各種福祉活動や皆さまの暮らしに役立つ福祉情報をわかりやすくお届けしています。『ねむろ社協だより』を年3回（3月・7月・11月）、市内全戸に配布するとともに、ホームページでも福祉活動や各種サービスの紹介をしておりますので、是非ご覧ください。

この他にも根室市社協では皆さんから寄せられた募金を活用していろいろな福祉事業を実施しております。

寄附金付きコラボグッズの紹介

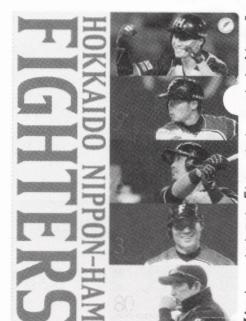
(売上の一部が寄附となります)

根室市共同募金委員会事務局（根室市福祉会館内）では、募金額に応じたコラボグッズを取り揃えております。ご希望の方は、事務局職員までお声をかけてください。

他にもいろいろなグッズを取り揃えております！



illustration by みなみさき
©Crypton Future Media, INC. www.piapro.net piapro



「妖怪ウォッチ」クリアファイル

©L5/YWP・TX

北海道社会福祉大会 被表彰者のご紹介

9月7日(木)に苫小牧市で「第67回北海道社会福祉大会」が開催されました。市内からは、長年にわたり社会福祉事業や共同募金運動にご尽力をいただいた1企業、3学校、5名の個人が表彰を授与されました。

また、9月22日(金)に開催した根室市共同募金委員会総会において、石橋会長より北海道共同募金会長被表彰者へ表彰の伝達を行いました。

◆北海道社会福祉協議会長表彰

【民生委員・児童委員】(順不同)

・清水 昭広様 ・高橋 敏二様

【社会福祉事業協力者(経済的援助)】

・株式会社カネヒロ

◆北海道共同募金会長表彰

【永年勤続奉仕者】(順不同)

・木村 キワ様 ・中西 勇次様 ・能村 英子様

【優秀学校】(順不同)

・根室市立厚床小学校様 ・根室市立厚床中学校様

・根室市立落石小学校様

◆赤い羽根共同募金運動に関するお問い合わせ先

根室市有磯町2丁目6番地 根室市共同募金委員会(根室市福祉会館内) 電話 24-0381 FAX 24-0551



歳末たすけあい募金運動

~実施期間: 12月1日から12月31日~

共同募金運動の一環として、12月1日(金)から歳末たすけあい運動が始まります。

皆さまから寄せられる歳末たすけあい募金を活用し、市内の生活困窮世帯を支援する下記の事業を実施いたしますので、皆さまのあたたかいご協力をお願いいたします。

◆歳末義援金助成事業

各地区の民生委員のご協力のもと、市内で経済的に支援を必要とする世帯に対して、義援金を助成いたします。

●対象となる世帯

根室市内にお住まいで、世帯収入(月額)が生活保護基準以下で、生活保護を受給していない世帯。

※施設入所者や長期入院されている方は対象となりません。

●申請方法等

根室市社協、市社会援護担当(窓口20番)、各地区の民生委員宅に「平成29年度歳末たすけあい義援金申請書」を設置しています。申請書に必要事項を記入し、添付書類を添えて根室市社協にお持ちください。申請期間は、平成29年11月1日(水)から11月24日(金)までとなります。

◆図書カード配布事業

児童福祉の向上並びに要援護世帯の生活向上を目的に図書カードを支給いたします。

●対象となる児童

歳末義援金助成事業の助成対象世帯の中で小学校または中学校に就学中の児童。

◆歳末たすけあい介護応援用品支給事業

市内で介護を必要とする方のいる世帯に対して、介護を必要とされる方の生活向上や介護者の介護負担の軽減を図ることを目的に介護用品を支給いたします。

●対象となる世帯

市で実施している「家族介護用品支給事業」の対象世帯であり、根室市社協に申請書を提出された世帯。

●申請方法等

後日、市の協力により、対象となる世帯へ申請書を送付いたしますので、必要事項を記入の上、根室市社協までご返送ください。

◆入学支援金贈呈事業

小学校に入学する児童のいる世帯に入学支援金を贈呈いたします。

●対象となる世帯

平成30年4月に小学校に入学する児童がいる世帯であり、根室市社協に申請書を提出された世帯。

※但し、市民税非課税の「ひとり親世帯」または「在宅で暮らす障がい児のいる世帯」を対象世帯とします。

●申請方法等

後日、市の協力により、対象となる世帯へ申請書を送付いたしますので、必要事項をご記入の上、根室市社協までご返送ください。

◆歳末たすけあい募金を活用した事業のお問い合わせ先

根室市有磯町2丁目6番地 根室市社会福祉協議会(根室市福祉会館内) 電話 24-0381 FAX 24-0551

第23回「ふれあい交流会」開催

9月3日(日)に根室市総合文化会館を会場に『ねむろ健康まつり』と協同で、『ふれあい交流会』を開催しました。

『ふれあい交流会』は、障がいの有無に関わらず、誰もがともに生きる福祉の社会づくりを目指すとともに、在宅障がい者の自立と社会参加を進め、さらに地域住民の参加による福祉活動の推進を図ることを目的に毎年開催しております。

当日は、台風接近の影響もあり、風も強かったため、ふれあい交流会では初めて全てのコーナーを文化会館内で実施することになりました。

天候には恵まれなかったものの、昨年よりも200名多い約1,800名の方々が会場に来られて、ふれあい交流会実行委員18団体、140名が創意工夫した数多くのイベントコーナーに足を運んでいただき、みんなで楽しく交流と親睦を深めることができました。

無料風船配布コーナー



浮きものづくりコーナー



文化作品展示コーナー



上記のコーナーの他にもたくさんの楽しいコーナーに多くの来場者が遊びにきました！



『赤い羽根共同募金』コーナー



今年もふれあい交流会の会場内に「赤い羽根共同募金コーナー」を設置し、来場された皆さんに募金のご協力を呼びかけました。

皆さまからのあたたかい善意をいただき、24,873円の募金のご協力を賜りました。寄せられた募金は、皆さまが地域で安心して暮らせるよう、地域福祉・在宅福祉の向上のため、各種福祉事業に活用されます。

※本誌2頁で赤い羽根共同募金を活用した根室市社協の事業を紹介しておりますので、ご覧ください。



9月11日(月)にふれあい交流会の出店コーナーなど5つのコーナーの益金31,900円を赤い羽根共同募金に役立てていただきましたため、ふれあい交流会実行委員会を代表して根室身体障害者福祉協会の淀川会長(写真左)から根室市共同募金委員会の石橋会長(写真右)へ手渡しいたしました。



『ふれあい交流会』は、赤い羽根共同募金助成金の一部を活用しています

「第27回福祉団体スポーツ交流会」開催

紅白玉入れ



紅白対抗リレー



8月27日(日)に根室市青少年センターを会場に市内の福祉団体やボランティアが一堂に会し、『第27回根室市福祉団体スポーツ交流会』が開催されました。

スポーツ交流会は、スポーツを通じて心身に障がいを持つ方の体力の維持向上、機能回復を図るとともに根室市における障がい者スポーツの更なる発展を目的に毎年実施しております。

当日は、市内の福祉団体等8団体とボランティアを合わせて約130名が交流会に参加し、“風船割りゲーム”、“紅白玉入れ”などの人気の種目に加え、今回から新たな種目として加わった“パン喰い競走”を含む11種目が行われました。

最終種目となる“紅白対抗リレー”では紅白に分かれた20名の選手による白熱したレースが繰り広げられ、会場からは熱心な応援が寄せられていました。

今年は、白組が優勝となり、みんなでスポーツを通じて、心地よい汗を流しながら、楽しく親睦を深めることができました。

『福祉団体スポーツ交流会』の活動は、赤い羽根共同募金助成金の一部を活用しています

「戦災殉難者並びに無縁物故者追悼法要」 が執り行われました



根室空襲から72年が経過した7月15日(土)に犠牲となられた戦災殉難者と無縁物故者を弔うため、西浜墓地内の無縁精靈塔前にて、戦災殉難者並びに無縁物故者追悼法要が執り行われました。

根室空襲は、昭和20年7月14日から15日にかけて米軍機による空からの激しい爆撃を受け、市街地の約8割が焼け野原と化し、多くの方々が犠牲となりました。

追悼法要当日は、僧侶がお経を読み上げる中、参列された約30名の方々がご焼香し、戦災殉難者並びに無縁物故者のご冥福をお祈りいたしました。

『戦災殉難者並びに無縁物故者追悼法要事業』は、赤い羽根共同募金助成金の一部を活用しています

これからの『地域のつながりづくり』について

私たちのまちは、他市町村と同様に人口の減少に比例して、支援を必要とする高齢者が地域で急増しております。また、介護の専門職が減少していくと介護・福祉に関する様々な課題を専門職だけで対応することが困難になってきます。

根室市社協では、できるだけ早い時期から地域住民ひとりひとりが、一緒に支え合うしくみづくりに関心を持ち、取り組んでいただくことを目的として、10月18日(水)と10月19日(木)に下記の勉強会と研修会を開催いたしました。



勉強会の講義



勉強会のグループワーク



『協議体』と 『生活支援コーディネーター』

◆『協議体』とは、地域の中で暮らし、様々な活動をされている方々がメンバーとなって、地域の中で生じている問題などを無理なく、今できることをみんなで話し合うしくみです。

◆『生活支援コーディネーター』とは、協議体と協力しながら、自分たちの地域をより良いものとするため、様々な地域の活動や地域に暮らす人々をつなげ、組み合わせる調整役となります。

『地域の支え合いづくり勉強会』開催

10月18日(水)に公益財団法人さわやか福祉財団ふれあい推進事業担当リーダーの翁川由希氏とNPO法人子育てサポートネットくるる理事長の松實とよ実氏を講師に招き、「地域の支え合いづくり勉強会」を開催いたしました。

当日は、市内の介護事業所職員、行政職員、根室市社協職員などの介護・福祉に関わる専門職員約20名が参加しました。

翁川講師からは、「みんなでつくろう支え合いのある地域」をテーマに講義をしていただきました。

講義では、これからの地域づくりは、地域で支援を必要とする状態になんでも、住み慣れた地域で自分らしい生活を人生の最後まで続けることができるよう、住まい・医療・介護・予防・生活支援が一体的に提供される地域包括ケアシステムの構築が重要な課題となり、その中でも生活支援を充実する施策として、平成30年度から全国の市町村に設置が義務づけられている「協議体」と「生活支援コーディネーター」の役割について、全国の事例をもとにわかりやすく説明をしていただきました。

松實講師の講義では、「支え合ってどんなこと?~地域にあること・あるものを再発見!地域でできることを考えよう~」をテーマとしてグループワークを行い「助けること」と「助けられること」の意味を再理解するとともに、地域ではどのような困りごとがあるのかを改めて認識いたしました。

グループワークの終盤では、地域の社会資源や人材を活用して、地域の困りごとをどのように解決できるかについて、グループ内で話し合い検討いたしました。

『支え合いを広げる地域づくり研修会』開催

10月19日(木)は、前日に引き続き、翁川氏と松實氏を講師に迎え「支え合いを広げる地域づくり研修会」を開催しました。

当日は、福祉関係者並びに福祉に関心を寄せる地域住民の方々約60名が参加し、地域で支え合い助け合う地域づくりをどのように築いていくかについて講義とグループワークを行いました。

講義では、これまでの“公的な介護・福祉サービス”から“地域住民をはじめとするボランティア、NPO法人、民間企業などの多様なメンバーが住民を囲んで支援を行う仕組みづくり”へ意識を変えていく必要性について理解を深めました。

また、講師から住民による助け合い活動の意義として、「自分が支える地域は、自分を支えてくれる地域」であるとのメッセージもいただきました。

午後からは、前日の勉強会でも行われた“困りごとが書かれたカード”を使用したグループワークを行い、グループの中で様々な意見が出されました。

この研修会では多くの地域住民の方々が参加していただいたこともあり、自分たちの住んでいる地域の目線で多くの困りごとを再発見し、その解決方法について様々なアイデアが出され、活発な意見交換が行われました。

『地域の支え合いづくり勉強会』と『支え合い広げる地域づくり研修会』は、歳末たすけあい募金助成金の一部を活用し開催しております。

高齢者安否確認事業のご紹介

高齢者安否確認事業は、市からの委託事業として根室市社協で実施しております。70歳以上のひとり暮らし高齢者を対象として、ヤクルトレディが定期的に自宅にヤクルトをお届けし、安否確認の声かけを行います。
※65歳以上で近隣に身寄りがなく安否確認を必要とする高齢者については、根室市社協の独自事業として実施しております。



敬老の日に合わせて、釧路ヤクルト販売(株)根室出張所中央センターより、本事業の利用者の皆さんに、ヤクルトレディから“カーネーション一輪”と“メッセージカード”が届けられました。

●サービスの内容

ヤクルトレディが定期的にご利用者の自宅にヤクルトをお届けし、安否確認の声かけを行います。

●利用対象者

70歳以上のひとり暮らし高齢者。

●利用料金

利用は無料です。

●利用方法

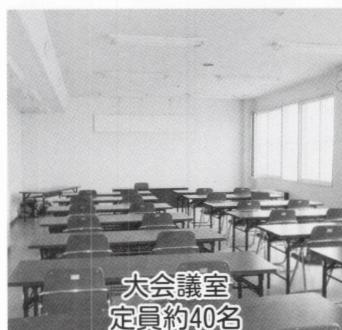
地区の民生委員がご利用を希望される方の自宅に伺い、訪問調査をいたします。ご利用を希望される方は、根室市社協または地区の民生委員までご連絡ください。



根室市社協独自事業である65歳以上の高齢者安否確認サービス事業は、赤い羽根共同募金助成金の一部を活用しております。

根室市福祉会館ご利用のご案内

根室市福祉会館は、社会福祉を目的として活動を行う団体及び個人を対象に福祉会館の各室を貸出ししております。会議や研修など幅広い福祉活動の場としてご利用ください。



●利用対象者

社会福祉活動を行う団体及び個人、町会など

●開館日・利用時間

月曜日から金曜日の午前9時から午後9時まで

●休館日

土曜日、日曜日及び祝祭日と年末年始

●受付及び申込方法

利用予定日の2週間前までに『福祉会館使用申込書』を1階社協事務局までご提出ください。

※『福祉会館利用申込書』は、1階社協事務局または根室市社協ホームページより取得をお願いいたします。

●利用料

無料でご利用できます。

■お問い合わせ先

根室市有磯町2丁目6番地 根室市社会福祉協議会（根室市福祉会館内）電話 24-0381 FAX 24-0551

ボランティア情報通信

No.46

根室市社会福祉協議会・ボランティアセンター TEL 24-0381 FAX 24-0551

平成29年度『根室管内ボランティア研修会』開催



8月25日(金)に根室管内を対象にボランティアに関心のある団体・個人が集まり、「平成29年度根室管内ボランティア研修会」が開催されました。

当日は、北海道教育大学釧路校の境教授と同大学の学生たちを講師に迎え、「防災教育とその果たす役割」をテーマとした講義や津波発生装置を使った津波実験などをしていただきました。

講義では、過去の災害事例をもとに津波や火山噴火のメカニズムと災害の被害状況を説明していただくとともに、災害が発生した場合にどのように自分たちの身を守り、地域で防災力を高めていくかについてお話しをしていただきました。

研修の中では、“津波発生装置”を使用した津波実験も行い、津波の波の種類や陸地までの津波の伝わり方について学ぶことができました。

また、研修の後半では、自分たちが住んでいる地域の避難場所や災害時に必要となる物品について、ゲーム方式でグループの中で話し合われて、災害時の対応方法についてより理解を深めることができました。



ジュニアボランティア養成講座

ジュニアボランティア養成講座では、体験学習を通じて、児童・生徒に高齢や障がいについて理解を深めていただき、ともに助け合い、生きることの大切さを学んでいただくことを目的に実施しております。

根室市ボランティアセンターでは、「高齢者疑似体験」、「アイマスク体験」、「車いす体験」、「手話の学習」の4つの講座を出前型体験講座として実施しております。

講座の実施を希望される学校は、随時受付しておりますので、お気軽にご相談ください。

「車いす体験」のひとこま。車いすの動かし方や介助方法について学んでいただくとともに、障がいを抱える方への理解を深めていただきました。

平成29年度の実施期間

■アイマスク体験・車いす体験・高齢者疑似体験

平成29年5月～平成30年3月中旬

■手話の学習

平成29年6月～平成29年12月末

本講座の対象

■市内の各小中学校

(小学生は3学年以上)

※福祉団体等で本講座の実施を希望される

場合は、気軽にご相談ください。

■ “ジュニアボランティア養成講座” のお問い合わせ先

根室市社会福祉協議会 ボランティアセンター 電話 24-0381 FAX 24-0551

多くの方々のご寄附に感謝いたします

平成29年6月1日から平成29年9月30日までに皆さまから寄せられた善意を紹介いたします



根室カラオケ友の会



弥生町会婦人部



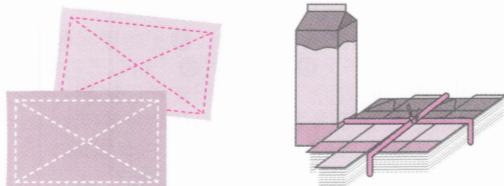
パチンコひまわり根室店



松ヶ枝町会婦人部



根室スイミングクラブ



社協事業寄附金

●根室カラオケ友の会 (合)	200,000円
	計 200,000円

ボランティアセンター物品預託

●足立 義明	尿とりパッド他	14点
●宝西町会婦人部	雑巾・タオル他	473枚
●岩瀬 圭子	丹前・はんてん他	12点
●佐藤 順子	シーツ・毛布他	31枚
●敷島町会婦人部	ウエス他	8,007枚
●千島町会婦人部	ウエス・バスタオル他	42点
●弥生町会婦人部	タオル・おしごり他	427点
●(匿名)	ポータブルトイレ他	3点
●松ヶ枝町会婦人部	雑巾・バスタオル他	111点
●岡田 奈々	ウエス	1袋
●(匿名)	フェイスタオル	15点
●澤田世栄子	雑巾	50枚
●(匿名)	丹前・掛け時計他	5点
●吉澤 ヨシ	タオル・おしごり他	20枚
●角鹿 慶昭	タオル	24枚
●高橋美枝子	紙パンツ他	2点

収集ボランティア

(牛乳パック)

- 松永 幸●端谷 博子●川田 隆子●倉又 良春●大友美恵子
- 敷島町会婦人部●根室スイミングクラブ●河端 準一
- 福田 淳男●福原庄太郎・萌絵●市立根室病院どんぐり園
- 山下 洋子●成山 哲子●小川絢新・凱聖・文寧
- 末日聖徒イエスキリスト教会根室支部扶助協会●白川 美加
- 佐田石材店●足達由美子●田中 心温●田村サカエ
- 千葉生翔・由翔・広翔●倉本ひろ子●藪そば処八文目
- 苦谷 純子●富樫心愛里●佐々木幸江●株キタウロコ荒木商店

(リングブル)

- 松永 幸●根室海上保安部●端谷 博子●小向このは
- 大友美恵子●敷島町会婦人部●富永トヨ子●温根沼婦人部
- 温根沼簡易郵便局●千島町会婦人部●根室スイミングクラブ
- 福原庄太郎・萌絵●希望の家●福田 淳男●助川 恵子
- 侑村上左官工業●後藤 昭仁●千葉 義則●池田 勝江
- 小川絢新・凱聖・文寧●愛澤 文一●株山口木材店●山下 洋子
- 末日聖徒イエスキリスト教会根室支部扶助協会
- イーストハーバーホテル●白川 美加●佐田石材店●今西美代子
- 村川 順子●カネダイワタナベ●足達由美子●株カイト
- 川田 隆子●高津税務会計事務所●朝日町会喜楽会
- 江村精神科内科病院●ドリーム美容室
- 東峰梨夢・歩夢・夢飛・夢大●千葉生翔・由翔・広翔
- 高崎 興史●根室年金受給者協会●塙 りさ●高橋 里子
- 谷 和樹・萌実●吉澤 ヨシ●大川 昌博●富樫心愛里
- 佐々木幸江●花咲小学校リサイクル委員会●光洋町会婦人部
- 株キタウロコ荒木商店

(使用済み切手)

- 小向このは●池田 勝江●阿彦 毯子●カネダイワタナベ
- 高崎 興史●高津税務会計事務所●東峰梨夢・歩夢・夢大

(ペットボトルキャップ)

- オカモト株セルフ根室●淀川 スキ●松永 幸
- 根室海上保安部●小向このは●川田 隆子●大友美恵子
- 敷島町会婦人部●温根沼婦人部●温根沼簡易郵便局●菊地 利子
- 千島町会婦人部●羽澤 薫●根室スイミングクラブ
- 河端 準一●福原庄太郎・萌絵●福田 淳男●助川 恵子
- 侑村上左官工業●後藤 昭仁●千葉 義則●池田 勝江
- レストラン リュミエール●日本生命根室営業部職員一同
- 小川絢新・凱聖・文寧●愛澤 文一●株カイト●山下 洋子
- 八文目●末日聖徒イエスキリスト教会根室支部扶助協会
- 株山口木材店●イーストハーバーホテル●白川 美加
- 佐田石材店●高石 昌行●Hair&Make-up VISION●今西美代子
- 阿彦 毯子●足達由美子●根室市消防本部●高津税務会計事務所
- 朝日町会喜楽会●ドリーム美容室●東峰梨夢・歩夢・夢大
- 光洋団地●どすらい●千葉生翔・由翔・広翔
- 根室年金受給者協会●セイブ●細谷 良行●カトリック幼稚園
- 鎌田 友仁●田村サカエ●ヤクルト中央センター●武田 賢治
- 高崎 興史●井川 妙子●塙 りさ●大関 春江●鈴木美和子
- 谷 和樹・萌実●吉澤 ヨシ●苦谷 純子●大川 昌博
- 根室印刷株●花咲小学校リサイクル委員会●かたおかおりお・莉捺
- 富樫心愛里●光洋町会婦人部●加藤 稜平●佐々木幸江
- 株キタウロコ荒木商店●パチンコひまわり根室店

(その他)

- 根室海上保安部

※寄附者・団体名は敬称を略しております。

訪問入浴介護事業所の『看護師』を募集します

訪問入浴看護職員（嘱託職員並びに非常勤職員）の募集

- ◆**業務内容** 訪問入浴を利用する方のご自宅に伺い、ご利用者の入浴介助や血圧、脈拍などのバイタルチェックを行います。

◆**就業時間** 嘱託職員：午前8時50分から午後5時20分
(休憩時間60分)
非常勤職員：午前8時50分から午後5時20分
の間の4時間程度

◆**休日** 週休2日制(休日：土日祝日、年末年始)

◆**賃金等** 嘱託職員：
 ●基本給 167,600円～246,600円
 ※その他各種手当有り
 ●賞与 年2回
 非常勤職員：
 ●時給1,230円
 ※その他各種手当有り

◆**必要な資格** ●正看護師・准看護師または保健師 ●普通自動車免許
 ●看護師・保健師の経験者 ●年齢・学歴不問

◆**その他** 「その他、賃金、勤務内容等の詳細については、気軽にお問い合わせください。」





■「訪問入浴看護師」募集のお問い合わせ先は下記又はハローワークまで
根室市有磯町2丁目6番地 根室市社会福祉協議会 電話 24-0381 FAX 24-0551

第15回 ねむろ社協だよりクイズ

Q：第27回福祉団体スポーツ交流会において、今回から新たに加わった競技種目の名前をお答えください。

*ヒント：本誌の5夏をご覧ください

【底墓方法】

【応募方法】
官製はがき、FAX、メールのいずれかに①郵便番号②住所③氏名（ふりがな）④クイズの答え⑤電話番号⑥「ねむろ社協だより」への感想・意見などをご記入のうえ、下記までご応募ください。
当選者の発表は発送をもって代えさせていただきます。

【応募宛先】〒087-0008 根室市有磯町2丁目6番地
根室市社会福祉協議会

■応募先 FAX番号：0153-24-0551

■応募先メールアドレス：nemu-vc@yacht.ocn.ne.jp

【応募締切】

平成29年12月18日(月)必着

※ “はがき”、“FAX”、“メール”的いずれの方法で
ただいても1人1口の応募とさせていただきます。

※お預かりした個人情報は、プレゼント抽選以外には使用いたしません。また、当該個人情報は当協議会が責任をもって管理し、それ以外には開示されません。

■ 誤認の原因と対策

- 理事会開催報告
- ・ 平成二十九年八月
平成二十九年度
- 根室市社協では、早期に応じて、早期にお手伝いをして相談には専門的に応じ、必要に応じて、早期にお手伝いをして相談には専門的相談内容の秘密を守るために、専門的な知識や経験を持つ専門家による相談を行っています。
- 『原田純子』『原田純子』
- 読者の皆様並びにおかけしたこと

理事会開催報

年八月二十日
年度第二回理事会開催

談に応じて、早期に問題が解決できるよう
にお手伝いをしています。相談には専門的な知識を持つた職員が対
応し、必要に応じて他の関係機関の紹介も
いたします。
相談内容の秘密は必ず守りますので、気
軽にご相談ください。

お詫びと訂正
『第九十五号ねむろ社協たより』三頁に
記載しております苦情解決第三者委員の氏
名に誤りがありました。

社協インフオメーション

お問い合わせ先
根室市有磯町一丁目六番地
根室市社会福祉協議会（根室市福祉会館内）
根室市共同募金委員会（根室市福祉会館内）
開館日…月曜日から金曜日（祝日を除く）
午前八時五十分から午後五時二十分
電話…二四一〇三八一
FAX…二四一〇五五一

